allcinema

放射線を浴びたＸ年後２（2015）

メディア 映画
ジャンル ドキュメンタリー
製作国 日本
時間 86分
初公開日 2015/11/21

【キャッチコピー】
思いは 風化しない

36歳の若さで亡くなった父
半世紀前、太平洋核実験を目撃した海の男たち――
彼らは「被ばく者」だったのか？

【解説】
愛媛県の南海放送でディレクターを務める伊東英朗監督が、アメリカの太平洋上での水爆実験で被ばくした日本のマグロ漁船は“第五福龍丸”以外にも数多く存在していたという衝撃の事実と、乗組員たちのその後を丹念な取材で明らかにし、大きな反響を呼んだドキュメンタリーの第２弾。明白な因果関係が証明できないために闇に葬られてきた“Ｘ年後”の姿を、継続取材を通してさらに深く掘り下げ明らかにしていく。本作では、前作がきっかけで高知県室戸市でマグロ漁師をしていた父の早過ぎる死に疑問を持ち始め、生存者への聞き取り調査を始めた川口美砂さんに密着し、元漁師たちの証言をカメラに収めていくとともに、当時の核実験が現在の日本列島にも影響を及ぼし続けている実態を科学的に調査していく。

【クレジット】
監督 伊東英朗
ナレーション 鈴木省吾

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.